



Webversion



## IDF PRESS RELEASE

### IDFプレスリリース

2019年8月29日、ブリュッセル発

#### 持続可能な乳業廃水管理のための革新的ソリューションの探求 Exploring innovative solutions for sustainable dairy wastewater management

IDFは本日、乳業の製造加工における先駆的な廃水処理を探求する出版物を発行しました。

製造工場で発生するすべての廃棄物と同じように、乳業の廃水は水域への排出前に処理される必要があります。その組成および有機物含量のため、生物学的処理が好まれており、現在、活性汚泥は最も利用されているプロセスの一つです。この処理は、他の単一の操作で完了し、排出に必要なレベルの品質を達成します。

しかしながら、乳業の廃水には、さらに興味深い可能性があります。そのユニークな組成はエネルギー生産を支援し、その処理は特定の条件下では再利用水の回収を可能にします。この新しい国際酪農連盟（IDF）出版物は、専門家が現場で発生した廃水の処理と価値の向上、または処理プラントの取り替えが必要な場合の最新技術の特定のための調べものができるガイドになります。このガイドの作成は、酪農チェーン全体で持続可能な慣行を採用するという酪農乳業セクターのコミットメントを実現し、廃水処理および処理オプションに関して酪農サプライチェーン全体で最高の専門知識とリソースを利用可能にします。

IDF 事務総長のキャロライン・エモンドは、この出版物について次のように述べています：

本出版物『[乳業の製造加工における廃水処理](#)』の発表では、国際酪農連盟（IDF）は包括的な概要および乳業分野で利用可能な環境にやさしく革新的な廃水処理テクノロジーを酪農乳業セクターに提供します。これらの事例を共有することで、セクター全体で廃水の価値が高まり、持続可能性を促進し、酪農乳業セクターの環境への影響を継続的に改善されることを期待しています。

現在、乳業の製造加工で発生した廃水の処理にはさまざまな技術が利用可能です。それらには、炭素汚染物質を処理してバイオガスを生成する嫌気性リアクター、膜バイオリアクター、再利用水の処理および生成のための膜濾過があります。一部の乳業工場はすでにこれらの技術を利用しており、受け取られるフィードバック（意見）は肯定的です。環境に優しい乳業技術の革新的な実践に関する IDF アクションチームによって開発されたこの出版物には、カナダ、フランス、ドイツ、アイルランド、イタリア、日本、スウェーデン、インドの事例が含まれており、この分野で利用できる最新技術の幅広い概要を提供します。

この出版物は、IDF の E ショップ <https://store.fil-idf.org/> から購入できます。

完

翻訳：J I D F 事務局

編者注：仮訳の正確性、完全性、有用性等についてはいかなる保証をするものではありません。参考資料として扱い、内容に疑義が生じた場合は英文の原文をご確認ください。